

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	保育・教育課程論					授業形態	講義		
科目コード	750129	単位数	2単位	配当学年	1年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	山田 裕司								
授業概要	<p>保育所・幼稚園・認定こども園における保育課程・教育課程について学びます。授業では、「保育所保育指針」、「幼稚園教育要領」、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」に基づき、保育の計画を作成する上での留意点を踏まえて、子どもの発達過程に合った保育の指導計画が作成できるスキルを学びます。</p> <p>また、計画、実践、省察・評価、改善という一連のプロセスを通して保育の質を点検・評価する方法を学ぶと共に、保育実践記録の分析・検討を行います。小学校との保育・教育接続も見通して、保育の実践力を養うことを目指します。</p>								
関連する科目	保育原理、保育者論、保育内容総論、保育の方法と技術								
授業の進め方 と方法	<p>毎回の授業にて、アクティブラーニング型授業を展開します。1回の授業の構成は下記の通りです。授業の前半では知識・理解の獲得に向けて、「法的位置づけ」や「学術的な根拠（子どもの発達段階の特徴など）」について講義します。後半では汎用的技能の育成に向けて、グループディスカッションや課題解決・探求学習等にて、前半の学びを深めるとともに、自らの考えをレポートやプレゼン等にて表現します。</p>								
授業計画 【第1回】	1. 保育における計画の意義 幼稚園の教育課程、保育所の全体的な計画について共通性と差異性を学ぶと共に、それを構成する項目について学びます。								
授業計画 【第2回】	2. 全体的な計画と教育課程 幼稚園の教育課程、保育所の全体的な計画について共通性と差異性を学ぶと共に、それを構成する項目について学びます。								
授業計画 【第3回】	3. 幼児教育の効果と社会情動的スキル 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿、5領域など、幼稚園教育要領等を通して育みたい子どもの姿について、資質・能力の視点から学びます。								
授業計画 【第4回】	4. 幼児期における社会上動的・認知的スキル 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿、5領域など、幼稚園教育要領等を通して育みたい子どもの姿について、資質・能力の視点から学びます。								
授業計画 【第5回】	5. 豊かな環境や保育者の言葉の働き 5領域の「言葉」「人間関係」「表現」について学ぶと共に、各領域を保育実践にて展開するための環境構成について学びます。								
授業計画 【第6回】	6. 乳幼児期の育ちと領域「人間関係」 5領域の「言葉」「人間関係」「表現」について学ぶと共に、各領域を保育実践にて展開するための環境構成について学びます。								
授業計画 【第7回】	7. 身近な人とのかかわりのなかで育つ 5領域の「言葉」「人間関係」「表現」について学ぶと共に、各領域を保育実践にて展開するための環境構成について学びます。								
授業計画 【第8回】	8. 仲間とのかかわりのなかで育つ 5領域の「言葉」「人間関係」「表現」について学ぶと共に、各領域を保育実践にて展開するための環境構成について学びます。								
授業計画 【第9回】	9. 保育実践と全体的な計画 幼稚園・保育所から小学校への連続性を保証するための保育者の取組（要録、アプローチカリキュラム）等について学びます。								
授業計画 【第10回】	10. 保育実践研究 幼稚園・保育所から小学校への連続性を保証するための保育者の取組（要録、アプローチカリキュラム）等について学びます。								
授業計画 【第11回】	11. 小学校との連携 幼稚園・保育所から小学校への連続性を保証するための保育者の取組（要録、アプローチカリキュラム）等について学びます。								

授業計画 【第12回】	12. 発達過程に応じた指導計画（0・1・2歳児）計画の作り方 これまでの授業を踏まえて、未満児と以上児の指導計画の作成を学びます。
授業計画 【第13回】	13. 発達過程に応じた指導計画（0・1・2歳児）実践 これまでの授業を踏まえて、未満児と以上児の指導計画の作成を学びます。
授業計画 【第14回】	14. 発達過程に応じた指導計画（3・4・5歳児）計画の作り方 これまでの授業を踏まえて、未満児と以上児の指導計画の作成を学びます。
授業計画 【第15回】	15. 発達過程に応じた指導計画（3・4・5歳児）実践 これまでの授業を踏まえて、未満児と以上児の指導計画の作成を学びます。
授業の到達目標	1. 保育・教育内容について学び、保育の計画と評価について実践する力を身につける。【表現】 2. 子どもの発達段階に応じた保育・教育内容について理解し、保育計画を作成する力を身につける。【技術】 3. 保育・教育内容の「計画、実践、省察・評価、改善の過程」について理解する。【知識】
学位授与の方針 (DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学修 【予習】	授業中に次の授業内容（予習箇所）を提示します。次の授業までに確認してください。
授業時間外の学修 【復習】	授業後には、授業内容に関連した法制度や図書・論文・資料の原文等を確認してください。確認する内容については授業時間に伝えます。
課題に対する フィードバック	小テスト、レポート、最終試験は評価後、返却及び解説をします。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 学習意欲（授業中）-50点 2) 小テスト及びレポート-20点 3) 最終試験-30点
テキスト	『幼稚園教育要領』（最新版） 『小学校学習指導要領』（最新版） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（最新版）
参考書	学習指導要領データベース（web） http://www.nier.go.jp/guideline/
備考	